

本校では、効果的な手洗いの方法に加え、最低でも三回はこすること、この1～8の作業を2回行うことをアドバイスしています。これにより、通常の手洗いよりも残存ウイルス数を約1/100まで減らすことが期待できます。

手洗いの時間による効果

手洗いの方法	残存ウイルス数(残存率)
手洗いなし	約100万個
流水で15秒手洗い	約1万個 (約1%)
ハンドソープで10秒または30秒もみ洗い後、流水で15秒すすぎ	約100個 (約0.01%)
ハンドソープで60秒もみ洗い後、流水で15秒すすぎ	約10個 (約0.001%)
ハンドソープで10秒もみ洗い後、流水で15秒すすぎを2回繰り返す	約数個 (約0.0001%)

※カッコ内は手洗いなしと比較した残存率です
出典:森功次他:感染症学雑誌、2006.Vol80 No.5

今の時期は新型コロナウイルスだけでなく、インフルエンザも脅威となっております。幸い、本校ではインフルエンザに罹った生徒がまだ出ておりませんが、春先まで油断せずに予防対策を行って参ります。

保健室より